

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社 三翠社 匠町工場新築工事	階数	地上2F
建設地	大阪府堺市堺区匠町11番2	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条地域	平均居住人員	226人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,280時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年10月 予定	評価の実施日	2022年9月27日
敷地面積	33,061 m <sup>2</sup>	作成者	三谷 秀政
建築面積	10,248 m <sup>2</sup>	確認日	2022年9月30日
延床面積	11,296 m <sup>2</sup>	確認者	三谷 秀政



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

**Q のスコア = 2.9**

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.6

#### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.4**

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 堺市堺区匠町に建設される工場の計画である。省水型機器や再利用可能な材料の採用により、水・材料等の省資源への取組みで地球環境にも十分配慮した計画としている。		特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 対象外。	<b>Q2 サービス性能</b> 更新間隔の長い配管材料を採用し、建物の耐用性向上に配慮している。また、階高や壁長さ比率にゆとりのある計画とし、フレキシビリティにも配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 周辺環境に配慮し、道路境界線、敷地境界線沿いには植栽を積極的に設けている。
<b>LR1 エネルギー</b> 照明はLEDを採用する等、高効率な設備システムを導入し、省エネルギーに配慮している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水機器や再利用可能部材を使用し省資源に配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 付置義務を満足する駐輪場・駐車場の設置、駐車場導入路を広く確保する等、周辺道路の渋滞緩和に寄与している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)株式会社 三翠社 匠町工場新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市堺区匠町11番2	1.2	B+
	主用途/延床面積	工場 / 11,295.52 m <sup>2</sup>		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	4	●●●●●
みどり・ヒートアイランド対策	2	●●●●●
エネルギー削減	4	●●●●●
建物の断熱性	5	●●●●●
安全快適な暮らし	4	●●●●●
自然エネルギー利用	—	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア			
CO <sub>2</sub> 削減	評価項目	スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.6	4
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値	3.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	評価点
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	4.3	4
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	5.0	5
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値	0.0	4
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値	3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値	3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値	5.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0	—

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	